

(様式2)

### 3. 事後評価の実施

#### (1) 実施時期

平成30年12月3日 評価結果を決定

#### (2) 評価の方法

施設整備の整備状況等を確認し、評価する。

### 4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、おおむね達成できた。  
学校施設の耐震化については、改築事業等により、平成28年度に耐震化率100%を達成した。  
特に、下松工業高等学校の一般施設事業については、教室が広くなり、使い勝手が良くなったと生徒から好感触を得ているほか、山口総合支援学校は、これまで教室を間仕切りして使用していたが、教室数が増えたことで、保護者からも高い評価を得るなど目覚ましい効果を上げていると言える。  
事業を実施できなかった宇部総合支援学校の防災機能強化事業については、平成29年度に改めて関係者と協議の上、単費で事業実施した。

### 5. 各目標の達成状況

#### (1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった ※いずれかを選択する

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / **達成できなかった** ※いずれかを選択する

【所見】

宇部総合支援学校の改築事業を行ったことで、県内の学校施設の耐震化率は100%となり、また、下関南総合支援学校の校舎の外壁改修を行ったことで、目標にある児童生徒の安全・安心の確保を実現した。

宇部総合支援学校寄宿舎の外壁改修については、工事調整に時間を要し、計画どおりの実施ができなかったが、次年度に事業実施し、完了した。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった ※いずれかを選択する

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 **目標を達成した** / 達成できなかった ※いずれかを選択する

【所見】

下松工業高等学校と下関工業高等学校の老朽化が進んだ校舎を改築したことにより、生徒の安全・安心を確保し、教育環境の質的向上を図った。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 **目標を達成した** / 達成できなかった ※いずれかを選択する

【所見】

山口総合支援学校の新增築事業により校舎を整備し、教育環境の充実を図った。

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

下松工業高等学校、下関工業高等学校及び宇部総合支援学校のそれぞれの旧校舎については、計画期間中にとりこわしを完了した。

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
下松工業高等学校(Ⅲ期工事)	(4)	21	一般施設	-	R	H26.10～H28.8	H28.8.22	調整に時間を要し、H28年度中の事業実施ができなかったため	H29年度に単費で外壁改修工事を実施
下関工業高等学校(Ⅲ期工事)	(4)	21	一般施設	-	R	H26.10～H28.6	H28.6.3		
下関南総合支援学校(小中)	(2)	36	防災機能強化	校	-	H28.10～H29.3	H29.3.30		
宇部総合支援学校(小中)(Ⅰ期工事)	(2)	01	危険改築	校	R	H28.12～H30.3	H29.3.31		
宇部総合支援学校(高)(Ⅰ期工事)	(2)	01	危険改築	校	R	H28.12～H30.3	H29.3.31		
宇部総合支援学校(高)	(2)	36	防災機能強化	寄	-	H28.10～H29.3			
山口総合支援学校(高)(Ⅱ期工事)	(5)	14	特支(幼・高)	校	R	H27.12～H29.6	H29.3.31		
下関南総合支援学校(高)	(2)	36	防災機能強化	校	-	H29.3～H29.3	H29.10.16		
山口総合支援学校(高)(Ⅲ期工事)	(5)	14	特支(幼・高)	校	R	H29.3～H29.3	H29.6.7		